

2019年6月13日

ギフモ株式会社

株式会社 BeeEdge

嚥下調整食に加工する調理器^{※1}や関連サービスを通じて摂食嚥下(えんげ)障害に関する課題解決を目指す「ギフモ株式会社」を設立・事業開始

ギフモ株式会社(以下ギフモ、代表取締役:森實将、本社:東京都港区)は、普通食を簡単に短時間で嚥下調整食に加工する調理器や関連サービスの提供を通じて、摂食嚥下障害に関する食の課題解決を目指す会社として2019年4月に設立し、このたび事業を開始しました。

食事は、我々が日常当たり前に行う不可欠な行為であるとともに、家族や友人たちとの団欒やコミュニケーションの場としても活用される「楽しみ」や「生きがい」を伴う行為でもあります。しかし、加齢による身体能力の減退や、何らかの疾患により摂食嚥下機能が低下し、普通食をスムーズに食べることができず、普通食を水分とともにミキサー等で流動化した食事や、市販の嚥下調整食に頼らざるを得ない方が、近年急速に進行する高齢化現象を受けて毎年増加を続けているという現状があります。

このような摂食嚥下障害に関する食の課題に着目したパナソニック株式会社アプライアンス社の社員が、新規事業創出活動「Game Changer Catapult^{※2}」のビジネスマンとして2016年から事業化の検討を開始。2017年には米国で最大級の最先端テクノロジーの祭典「サウス・バイ・サウスウェスト2017^{※3}」に出展し高評価を得るとともに、医療や介護現場からも関心が寄せられたことを受け、事業化を加速すべく、株式会社 BeeEdge^{※4}(社長:春田真、本社:東京都港区)の新規事業創出スキームにより、ギフモを設立しました。「Game Changer Catapult」の活動テーマを事業化した第1号案件となります。

ギフモは、今後、嚥下調整食調理器の開発を進め、2019年内に先行予約受付を開始し、2020年3月をめどに発売する予定です。

- ※1 嚥下調整食としての加工レベルは食材に依存します
- ※2 パナソニック株式会社アプライアンス社が、家電領域を中心とした新規事業の創出と、それらをリードする人材育成の加速を目的に2016年から推進する取り組み <http://gccatapult.panasonic.com>
- ※3 アメリカ合衆国テキサス州オースティンで毎年3月に開催されるデジタル・インタラクティブや映画・音楽の分野での世界的規模の大型展示会
- ※4 新規事業の創出促進を目的として、米国サンフランシスコをベースに日米でスタートアップへの投資を行うスクラムベンチャーズと、産業や組織の壁を超えたオープンイノベーションを活用し新たな付加価値創出を目指す株式会社 INCJ と、新規事業の創出を目指すパナソニック家電事業部門のアプライアンス社が共同で出資・運営する事業会社 <http://beeedge.com/>

【会社概要】

社名:ギフモ株式会社
代表取締役社長:森實 将
本社所在地:東京都港区浜松町1-17-14 ((株)BeeEdge オフィス内)
設立日:2019年4月5日
資本金:7,750万円
事業内容:嚥下調整食調理機器の企画・製造および販売 等
ホームページ:<https://gifmo.co.jp>



【お問い合わせ先】

ギフモ株式会社 徳弘 憲一 info@gifmo.co.jp tel: 03-5843-7657
株式会社 BeeEdge 袴田 竹宏 info@beeedge.com tel: 同上